

第3回旭市公共施設等総合管理計画策定市民委員会 会議概要

開催日時：平成28年5月23日（月）14：30～15：50

開催場所：旭市役所 本庁舎3階委員会室

出席者：13名

渡辺 幸則 委員長	出	米本 壽一 副委員長	出		
宇井 和則 委員	出	大嶋 文男 委員	出	大塚 成男 委員	出
椎名 和美 委員	出	島田 幸徳 委員	出	鈴木 教義 委員	出
高木 博幸 委員	欠	高根 雅人 委員	出	多田 和夫 委員	出
塚本 真一 委員	出	戸村美智子 委員	出	堀井 和夫 委員	出

《事務局》

市長（途中退席）、行政改革推進課 浪川 昭 課長、宮内 敏之 副課長、
石橋 康司 副主幹、諸持 國彦 主査、白土 裕子 副主査

資料：

【事前配布】

- ・次第
- ・旭市公共施設等総合管理計画（素案）

【当日配布】

- ・旭市公共施設等総合管理計画（概要版）の素案
- ・資料1 公共建築物の将来推計の修正について
- ・資料2-1 公共建築物の総量縮減に係る数値目標（試算）
- ・資料2-2 削減目標値の設定に当たって
- ・資料3 質疑・意見シート
- ・資料4 前回会議の質疑・意見シートによる意見等

会議概要：

1. 開会

2. 委員長あいさつ

大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

この市民委員会も今回が3回目となりました。今回も含めて、あと2回の会議となります。

本日は旭市公共施設等総合管理計画の素案として、前回の調査分析結果を踏まえて今後の整備方針を加えた冊子について、事務局より説明があります。

本日の会議は短い時間の中ではありますが、委員の皆様には忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

3. 市長あいさつ

新緑の美しい季節となりました。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しいところを第3回旭市公共施設等総合管理計画策定市民委員会にご出席いただき、心から厚く御礼申し上げます。

前回1月の会議では、全ての公共施設を対象とした調査分析結果をご報告させていただいたところです。そしてその分析結果をもとに、今回は将来の整備の方向性を追加し、素案として冊子を取りまとめましたので、本日はこの素案に対して皆様からのご意見を頂戴したいと思っています。

最近の出来事としまして、熊本地方を中心に震度7の大震災がありました。本市でも5年前に同じような揺れを経験したわけですが、そうした中で橋梁や多くの建物の甚大な被害があったわけですが、亡くなられた方、住宅を失った方がたくさんいるわけですので、その方々に心からお見舞いとお悔やみを申し上げたいと思います。

日本は地震列島、火山列島ということで、非常に自然災害が多いわけです。例えば宇土市や八代市などでは庁舎が損壊し、避難民対応や復旧対応に大きな支障をきたしていると聞いています。また、避難所に指定されている公共施設も、被災により避難所機能が果たせていない状況などが報道を通じて知らされているところです。宇土市は新庁舎建設を予定し、準備を進めてきた中での被災と聞いています。このような自然災害は、いつどこで発生するか予想することが非常に困難です。本市においても、またいつか同じようなことが起こるかもしれないという危険性があるわけです。

本市では、国土強靱化地域計画をもとに、より強くしなやかなまちづくりを進めていますが、新庁舎建設の推進や公共施設の安全対策など、停滞することなく着々と進める必要があると思っています。将来の社会状況や財政状況を予測しながら、適正にこれらに対応していくためには、本計画策定が非常に重要なものであると認識しています。

いかなる状況になろうとも人口減少が進むわけです。人口減少に的確に対応できるよ

うな公共施設として、それなりのものを考えていかなければならないわけです。策定をしていく中で、個別の公共施設の将来の方向性をこの委員会で示していただければありがたいと思っています。

今日は多くの資料があります。短時間ですべてを議論することは非常に難しいかもしれませんが、少し前に資料をお渡ししていますので、気が付いたことを重点的にご提言いただき、忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくご協力をいただきますようお願いいたします。

－事務局職員紹介－

4. 議題

(1) 旭市公共施設等総合管理計画（素案）について

※事務局説明《資料：旭市公共施設等総合管理計画（素案）》

意見・質問

●1 ページ～63 ページ：第一編については事実の提示なので、内容については特にありません。最後の方で挙げた更新費用の修正計算について、そのまま延命して使い続けたらというものですが、関わるとしたら第一編になると思いますが掲載するんですか。

⇒実際に削減目標を数値として載せる場合には、必要な資料であると考えています。現時点では冊子に間に合わなかったもので、掲載できるようなかたちで調整を図っていきたいと思います。ただ、数値にしても 15 億円の確保が本当に可能なのかどうか難しい面もあるので、何かいい案がないかと検討しているところです。

●個人的な希望を言えば、載せた方がいいと思います。確かに厳しい部分はありますが、いろいろな団体の計画を見ると、だいたい指定されたとおりに見積りをして足りません、で終わってしまっています。それよりもここまで踏み込んで、足りないにしても、修正をするなり方針を変えればある程度金額は変わってきますということを出していただいた方が、より現実的なものになると思います。あとで基金を積み増す話が出てきますが、現時点での見積りは前倒しで出てくるので、基金を積み立てている暇がないと思います。今回の修正計算だと、棒グラフのピークが後ろに行かずに回ってきますので、これが出ていたほうが基金を設けて対応していくことに意味が出てくると思います。できるだけ資料 2-2 についても、今回の計画に入れる方向で考えていただけたらと思います。

細かい点ですが、8 ページの橋梁の長寿命化のところに出てくる数字について、平成 24 年 3 月時点の調査結果は 50 年を経過したものが 1 橋で 1%以下となっていますが、25 ページでは 50 年以上が 3 橋となっている。つじつまを合わせた方がいいと思います。

⇒申し訳ありません。整合が取れていない点については、きちんと修正して対応したいと思います。

また、提案いただきましたシミュレーションを変えたものについても、掲載できるように調整していきたいと思います。

●67 ページ～70 ページ：第二編の現状や課題に関する基本認識について、2点あります。1点は70ページに出てきます。前回の会議で発言したことに関わるんですが、旭市固有の問題として旧一市三町の話があって、当然それが計画に関わってくると思いますが、私の解釈という部分もありますが、今回の計画は、このあと作る個別計画をいかに短期間で作れるようにするかがポイントだと思っています。具体的に公共施設の個別計画を作っていかなければいけないわけですが、その段階になると必ず個々に、これはいる、いらぬの議論になり、話が元に戻ってしまう部分があります。具体的にまた一から検討し、簡単には結論が出なくなってしまうので、そこでこの計画を作って、全体的な方針を決めておく必要があります。そのときに旭市として決めておかなければならないのは、旧一市三町にそれぞれ揃えるという方針を取るのか、あるいはその区分を今後はもう考えないで、市全体としての効率性で考えていくという方針を取るのか、というのも計画の内容だと思います。そのことについて70ページの冒頭に書かれており、「現在の行政区域や将来の人口規模に見合った施設配置の実現に向け」というのがそれだと思いますが、これだと伝わりにくいと思います。ここで、もう旧一市三町ではないと言おうとしているんだと思いますが、もう少しはっきりと書いてしまう。賛否両論は当然出ると思いますが、それを議論していただくのが重要なので、とりあえず原案としては旧一市三町はもうありませんと。パブリックコメントや市民のみなさんから、そうではない、それぞれに揃えてほしいという意見が出れば、それが基本方針として決まってくることになるでしょうから、もう少しはっきりと書いてしまってもいいと思います。

もう一つ、全体に関する内容のところに入れていただきたいのは、料金決定の問題です。財源の話にもなると思います。料金の見直しですが、それも個別に考えるのではなく、市全体としての公共料金の算定基準や設定基準というものを決めておかないと、個別の問題になるとなかなか結論が出なくなってしまう。たとえば千葉県内だと、浦安市が公共料金の算定基準を決めています。同じように旭市でも、対応の一つとして公共料金の話が今後出てくるのを想定しているのであれば、財政の部分でもいいと思いますが、方針として公共料金の統一的な基準を定め、それに基づいて見直しをするということも入れていただいた方がいいと思います。

⇒公共料金については、76ページで一部書いてありますが、今いただいた意見をもとに、より具体的に分かるような基準といったものを加えるよう検討していきたいと思います。70ページの施設配置については、どのような表記ができるか検討し、なるべくパブリックコメントのときに出せるようなものを作っていきたいと思います。

●72 ページ：旭市が目指す三大ビジョンについて、内容として、三番目の協働のところに近隣市町との連携が入っていますが、真ん中の施設マネジメントの方になる気がします。市民協働とは性質が違ってくるのでは。具体的には、旭市は銚子市と33年度からごみ処理の広域化ということで話が進んでいると思いますが、どちらかというとなマネジメントの面で、広い意味での協働かもしれませんが、運用の効率化を図るという話になると思います。場所として広域連携の話は、二番目のグループに入れて進めていただいた方がいいと思いました。

⇒指摘いただいたとおり、二番目の方に入れるようなかたちで修正を加えたいと思います。

●86 ページ：施設類型ごとの管理に関する基本的な方針について、ここで重要になってくるのは、④の基本方針だと思います。その中でさらに重要なのは、先ほど申し上げた点と重なりますが、今後の個別計画を作る際に何を見るのかをはっきりさせておかなければいけないことだと思います。そういったことからすると、まだ内容が抽象的に留まっている部分があります。

たとえば現状及び課題について、庁舎ではなかなか入れにくいかもしれませんが、たとえば医療関係や95ページの保育所のところでは、現状として定員充足率や老朽化の問題が挙げられています。そこで挙げているのであれば、基本方針のところでは定員充足率と老朽化を見て決めていくということも出さないと、また改めての議論になってしまうと思います。充足率だけで決める問題ではないという意見も出てくるでしょうが、そういうところも踏まえて今決めておかないといけません。ここで作ったことをもとに、今後、保育所や児童関連施設を具体的に20%削減の対象として見ていかなければなりません。個々の保育所の話になったときには必ず、ここはいるという話になります。そしてまた最初の議論から、いるかいないかということをやると、この何年かの間に結論を出すことができなくなります。

今後考えていくために、多少ドライな部分や厳しい部分もありますが、旭市としてはその保育所と児童関連施設に関しては定員充足率を見ます、あるいは老朽化を見ますと打ち出しておくことを計画の内容にする必要があります。そこをもう少し挙げておかないと、ただこういう方針でやりますと言っているだけでは、あまり効力のある計画にならないと思います。もう少し検討していただきたい点です。

⇒言い訳のように聞こえてしまうかもしれませんが、いま指摘をいただいた保育所と小中学校については、基準を定めるといったようなことがこの内容の中に書かれていません。その理由としましては、現在保育所は将来の旭市の保育所の在り方を検討する委員会が組織立って動き始めました。学校施設についても、同じように将来の学校をどうするかという委員会が発足したところです。その中で、今意見をいただいたような基準などをこれから定めていくようになると思います。そういう委員会がもうで

きているので、今そこで検討していることを記述ができれば記述する方向で検討したいと思います。委員会で始めています、といったようなことなどを載せられるよう調整していきたいと思います。

●今の保育所の関連ですが、私も関わっていますので興味深く話を伺っていました。そちらの部会ももうそろそろ方針が出ると思います。そういった方針をここに盛り込むとしたら、時間的にはどうなのでしょう。私はぜひ盛り込んでいただきたいと思います。20%という目標はありますが、恨みを買うのを承知で20%以上削ることを私は発言しています。数値目標の20%というのは正直言いまして、まるで足りないと思っています。ほかの部署が書けないのであれば、せめてここだけでも盛り込んでいただければと思っています。タイミング的に間に合うかどうかだけ伺いたいと思います。

⇒保育所の在り方検討委員会の結論がいつ出るのか、私どもで時期を確認していませんでしたので、確認しておきたいと思います。最終的に冊子としてまとめるのにいつがリミットかと言いますと、8月末くらいだと思います。それまでに方針が定まれば、組み入れていきたいと思っています。

<旭市公共施設等総合管理計画 概要版について>

※事務局補足説明《資料：旭市公共施設等総合管理計画 概要版》

意見・質問

●概要版は配布するんですか。

⇒全世帯への配布は現時点では考えていません。これはまず、パブリックコメントのときに見ていただきます。もちろん冊子も見ていただきますが、分かりやすい資料ということで用意します。計画策定後も配布はしませんが、これをもとに広報あさひへ特集ページを作るといったことを考えています。

●これでいいんじゃないですか。興味のある人はこれでは足りないでしょうけれど、興味のない人はこれでも読まないでしょう。

●もし変えるとしたら、裏面の実施方針はもっとあっさりにして、市民の方が知りたいのは施設類型ごとの基本方針の方だと思います。こちらにもう少しボリュームをかけて、知っていただく必要があると思います。そのあたりは少し手直しをしていただければと思います。

⇒はい。検討したいと思います。

●計画でも提示するときでも、この部分が一番大きいわけですから、そこをある程度しっかり書いた方がいいと思います。

<全体を通して>

意見・質問

●地元で話をしていると、市の庁舎をいつ頃どこに造るのか話題になりますが、ここで見ると平成 30 年度末と書かれているようです。

あとは学校関係で、銚子市は中学校を 2 校にするとか、小学校も結構廃校にして話題になっていました。いつとははっきり聞いていませんが、人口から言うと、旭市にも結構小規模校があります。これを見ると統廃合などにはまったく触れていないようですが、そのあたりはどうですか。

⇒先ほど少し話をしましたが、教育委員会で統廃合も含めて今後どうするかという検討委員会を昨年度に設立し、何回か協議を始めているところです。今後 20 年間のあいだでは、どこかのタイミングで発生してくるのではないかと考えてはいますが、市民の皆様を示すときに一番刺激が強い部分でもありますので、どう表現するか悩んでいるところです。今回、学校のところで具体的に統廃合について入っていないのも、そういったことがあってのことです。実際にそういった内容を入れたいとこちらでは考えていましたが、担当課との協議などを踏まえて、現状のようなかたちで今のところ落ち着いているというのが本音です。

銚子市については、具体的にいつというのは私どもも把握していませんが、かなり前から検討を進めていたことは聞いています。ただ、銚子市では実際に閉鎖して廃校になっている学校もありますが、これを解体するというときに、解体するお金さえこれからは苦しいのではないかと思います。旭市としては、もし今後そういったものが出たときに、解体できる資金くらいは持っていなければならないというのも含め、早め早めにこういった行動にいくべきだということを、できる限りこの中で出していきたいと思っています。

⇒新庁舎の話が出ていますが、87 ページに平成 30 年度末の竣工を目標に建設計画を進めていると記載されているところです。ただ、現状では場所が決まっていないので、竣工の年度は変わるかもしれません。私どももはっきりは聞いていませんが、この計画ができる時点では、決定まではいかないと思われます。

(2) 今後の予定について

※事務局説明《資料なし》

意見・質問

質疑なし

5. その他

※事務局説明

《資料3：質疑・意見シート、資料4：前回会議の質疑・意見シートによる意見等》

意見・質問

質疑なし

6. 閉会